

男女共同参画

「メディア・リテラシー」ってなんだろう

企画課男女共同参画推進室

☎ 23-3917

「メディア・リテラシー」とは、新聞、雑誌、テレビやインターネットなど、メディアからの情報を読み解いて、使いこなす力のことです。多くの情報があふれている現代、必要な力として注目されています。しかし、メディア・リテラシーという言葉聞いたことがあっても、意味を正しく理解している人は少ないようです。

皆さんの日々の生活を思い返してみてください。テレビから流れるニュースやコマーシャル、何か分からないことがあればインターネットで調べるなど、毎日多くの情報を取り入れていることと思います。しかし、さまざまなメディアが伝える情報が、いつもありのままを表しているとは限りません。時には多くの人の目をひくために、誇張が含まれている場合もあります。

たとえば、家事に関連するコマーシャルに女性の登場が多いことや、視聴者の目をひくために女性の肌の露出を利用しているもの、女医や女子大生など職業や身分にあえて「女」をつけている表現などが挙げられます。このように「男らしさ、女らしさ」など性別で行動や考えを決めつけてしまう表現や、性を商品化した表現も多くみられます。



情報化社会は私たちの生活を豊かにする一方で、無意識に情報を取り入れていると、自然と偏ったイメージが刷り込まれる環境でもあるのです。受け取った情報をうのみにせず「どうして？」と疑問を持ち、吟味することが大切です。

メディア・リテラシーを磨き、情報社会と上手に付き合い、情報を賢く活用していきましょう。